

能 楽

「能」のこと、また、能と狂言を一括して「能楽」ともいう。

能は「世界最古」と言われる日本独特の舞台芸能で、ユネスコの「世界無形文化遺産 第一号」と認定されております。能の物語はおよそ50話あり、その殆どが室町時代の末期までにできたものです。

能と狂言は600年を超える歴史の中で独自の様式を築き上げてきた。

能が歌舞劇として人間の哀しみや怒り、恋慕の思いなどを描くのに対し、狂言は笑いの面を受け持ちセリフ劇として洗練を重ねてきました。

1948年（昭和23年）初めて女性が能楽協会への加入が認められました。

人形浄瑠璃

人形浄瑠璃とは、江戸時代に端を発する日本の伝統芸能の一つであり、近松門左衛門によって大成されました。

浄瑠璃がそもそも三味線と太夫（語り）により演じるものを示した言葉で、これに土偶（でこ）とも呼ばれる人形による芝居を併せたものを指して人形浄瑠璃と呼ばれています。

国の重要無形文化財であり、ユネスコの無形文化遺産にも認定されています。

ちなみに、混同されてしまっていますが文楽というのは、大阪の人形浄瑠璃座の一つ、文楽座を示す言葉で人形浄瑠璃を示して文楽というのは誤用です。